

付属資料編

厚岸樹木園で見られる樹木 (参考)

アカエゾマツ (マツ科)

常緑樹で高さ30~40m、太さ1~1.5mに10~15cmになる。北海道の東部や北部の山中に多く、玄武岩地帯や湿地、砂丘、火山灰地にも生える。トドマツやエゾマツと混生するが、ときに純林もつくる。エゾマツとともに「**北海道の木**」に指定されている。葉：線形で長さ0.5~1.2cm、横断面は四角形。花：雌花は長さ1.5cm、帯紅色で黄色の花粉を出す。雄花は紫紅色で長さ3cm、5~6月に開花。球果：長さ5~8cmの円柱形で下垂、9月に成熟し、暗紫色になるが、まれに緑色または黄緑色になるものがある。樹皮：黒赤褐色で不規則な鱗片状にはがれる。分布：北海道、本州（早池峰山）、南千島、サハリン南部。用途：建築材、楽器材（特にピアノの響板）、器具材、公園・庭園樹、盆栽、生垣など



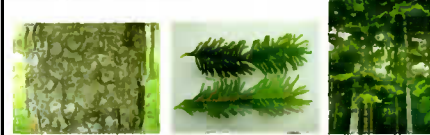
トドマツ (マツ科)

常緑樹で高さ20~30m、太さ60~80cm、枝はほぼ水平に出るか、やや斜め上に出る。海岸近くにも生えるが山地に多く、広葉樹やエゾマツとの混交林または純林をつくる。北海道の代表的な人工林種で、人工林面積の約半分を占める。葉：線形で長さ約2cm、幅2~3mm、先は2列し、柔らかく裏に白い気孔線がある。花：1本の木に雄花と雌花をつけ、雄花は卵形で長さ約1cm、紅色で黄色の花粉を出す。雌花は黄紅色でまたは帯紫緑色で直立し長さ約3cm、5~6月に開花する。球果：円筒形で上向きにつき、長さ5~10cm、径2~3cm、9月に成熟し黒褐色になる。樹皮：灰白色、平滑でなめらか。分布：北海道、南千島、サハリン。用途：建築・器具材、パルプ材、公園樹など



エゾマツ (マツ科)

常緑樹で高さ30~40m、太さ1.5mくらいになる。山地の斜面や沢すじに多く生え、トドマツや広葉樹と混交する。アカエゾマツとともにエゾマツの総称で「**北海道の木**」に指定されている。葉：扁平な線形で長さ1~2cm、先端はとがり、裏には気孔線があって白色を帯びる。花：雄花は楕円形で長さ1.5~2cm、紅色で黄色の花粉を出す。雌花は小枝の先につき、紅紫色した円筒形で直立し長さ約2~2.5cm、5~6月に開花する。球果：円筒形で長さ4~8cm、太さ2~3cmで下垂し、9月に淡黄褐色になり熟す。樹皮：黒褐色で鱗片状に薄くはがれるが、灰白色でほとんど龜裂しないものをシロエゾマツという。分布：北海道、南千島、サハリン。用途：建築材、楽器材、器具材、パルプ材など



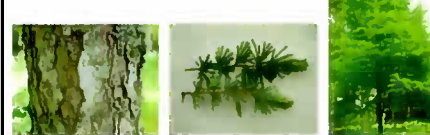
アオダモ (モクセイ科)

山地に生える落葉樹で秋に黄葉する。高さ10~12m、材質が硬く、緻密で硬式野球のバットとして有名であるが、街路や公園などにも植えられる。近年はバット材が減少傾向にあるため造林が行われている。葉：3~7枚の小葉が鳥の羽状につき全体で長さ10~15cmの葉をつくる。小葉は長楕円形で長さ4~10cmで幅1.5~4cm、鋸歯縁で表面は無毛だが裏面は脈にそって毛がある。対生する。葉：帯青灰色でなめらか。花：雌雄異株、円錐花序に白い花を多数つける。花冠は4分裂し長さ7mmの線形、6月開花。果実：翼果は卵状針形、長さ3cm、10月成熟。冬芽：広卵形で長さ5~6mm、長毛がある。分布：日本、南千島、朝鮮。用途：バット材、器具材、公園・街路樹など



カラマツ (マツ科)

落葉樹で高さ30m、太さ1m、原産地（本州中部地方）では山地の斜面や高原に生え、道内では自生していないが広く造林されており、秋には黄葉する。道民にはハナイグチ（通称：落葉キノコ）の獲れる木として親しまれている。葉：長さ2~4cmの線形で、短枝では20~40枚が束生し、長枝ではらせん状につく。花：1本の木に雄花と雌花をつけ、雄花は黄色の卵形で短枝に下向きにつき、雌花は淡紅色または淡緑色で短枝に直立またはやや横向きにつき4~5月に開花。球果：長さ2~3.5cmの広卵形で、初め帯白緑色でのち黄褐色、9~10月に成熟する。樹皮：暗褐色で縦に裂け、鱗片状にはがれる。分布：本州（東北、関東、中部地方）。用途：建築・器具材、防風林、公園樹など



イタヤカエデ (カエデ科)

平地から山地まで生える落葉樹で秋に黄葉する。高さ15~20m、太さ60~100cmくらいになる。樹液からメープルシロップをつくることできる。材は硬く粘着力がある。葉：径5~15cmで、手のひら状に5~7に中へ浅く裂ける。裂片はとがっているが、ふちにぎざぎざはない。葉の裂け方、毛の有無などの変異が多く対生する。葉：帯緑灰色~暗灰色、浅く縦に裂ける。花：緑黄色で花びらは5枚。花の径は約6cmで雌花と両生花をつけ、5月頃に開花。果実：翼のような果実。翼は斜めに開く。分果は長さ2~3cm。冬芽：頂芽1個、卵形~広卵形で長さ4~8mm、側芽は対生する。分布：日本、サハリン、朝鮮、中国など。用途：公園・街路樹、器具・楽器材、スキーなど

